

文化教養学科

短大で学ぶ文学

— 中島敦『山月記』を読む —

視点が変われば
世界が変わる?!

文化教養学科 教授 桐生 直代（日本近代文学）

POINT

詩人を目指しながらも、その尊大さゆえに挫折し、虎になってしまった李徴。

『山月記』から読み取れるのは、本当に「臆病な自尊心」と「尊大な羞恥心」ゆえの悲劇だけでしょうか。

この講義では、『山月記』をもう少し読み広げ、深めるための視点を提供します。

- なぜ、李徴はあれほどまでに自分のことを語るのか？
- 人はなぜ自分語りをするのか？
- 元ネタの「人虎伝」を使って小説を書いたのは中島だけではなかった！
- 『山月記』を他作品と関連させて読んでみよう！